



しまね棚田めぐり旅

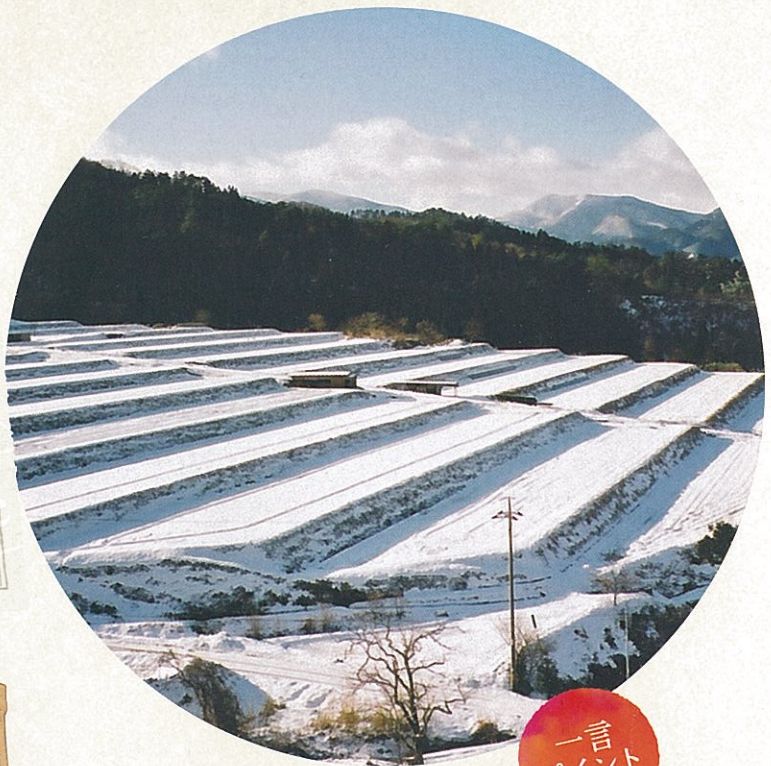
大原新田
おおはらしんでん

奥出雲町 おくいずもちょう

日本の
田選
百棚



江戸時代に鉄師「絲原家」が私財を投入し、かなな流し(砂鉄採取地跡)によってできた土地を畑に造成し、そして田んぼに整備して現在の形になりました。当時の造成技術の高さがうかがわれます。



「棚田への思い」

その昔、山を切り開き、炭を焼いた人々、遠い山から水を引き、砂鉄を採取した人々、たたらを吹き、和鉄をつくりあげた人々、そんな苦労を味わいながら家族で助けあい、この土地を残してくれた先祖たち。先祖への感謝の気持ちで米づくりに精を込めたい。私たちがここにはいます。だす人々がここにはいます。私たちの願いはこの棚田の歴史と先祖への思いを後世に伝えていくことです。

大原新田棚田
保全管理委員会



好評
販売中!

「簸上清酒合名会社」が、大原新田で酒米を契約栽培し、「棚田五百万石」「深山の香」のブランドで販売中。

一言
ポイント

雑誌に掲載されたり、テレビドラマ「砂の器」の冬景色のロケ地になりました。展望台からの撮影が多く、人気の撮影ポイントになっています。

DATA

【所在地】仁多郡奥出雲町大馬木大原
「JR松江駅」から車で約60分
中国自動車道「東城IC」から車で約60分
【保全組織】大原新田棚田保全管理委員会
【問合せ先】奥出雲町農林土木課 ☎0854-52-2673

【概要】田畑の枚数:38枚 面積:4.9ha
農家数:6戸 起源:江戸時代後期～

国の重要文化的景観
に選定
(奥出雲たたら製鉄及び
棚田の文化的景観)
H26年3月18日文科科学省